2022 年 7 月発行
No. 8

岩波駅周辺地区まちづくりニュース

裾野市　建設部　ウーブン・シティ周辺整備課
[電話]055-994-9010
事業については裾野市公式ウェブサイトでご覧いただけます
岩波駅周辺地区

[配布先]深良、富岡、須山地区

●令和4年度 第3回ワークショップ（7月3日開催）の結果概要

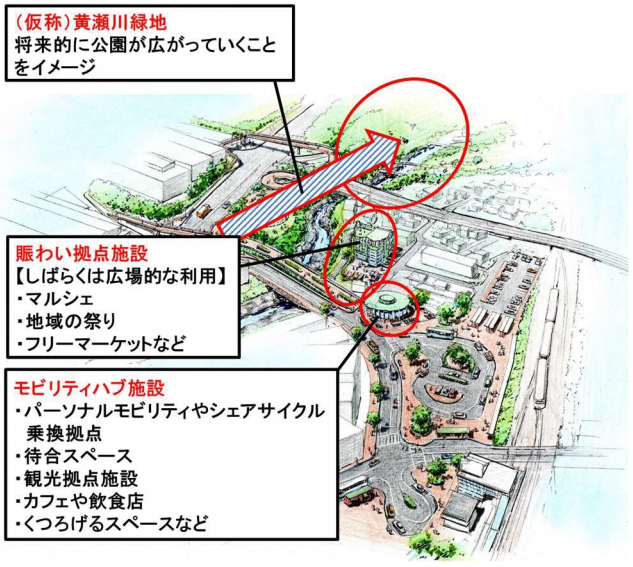
7月3日（日）に、令和４年度 第３回目となるワークショップを開催しました。前回は、黄瀬川沿いの緑地公園について、“市民が大事にしたくなる”をテーマに、「使い方」「施設の間取り」「公園の愛称」を描いていただきましたが、今回は、岩波駅周辺整備の検討状況等を踏まえた上で、緑地公園について再度考えていただき、発表・投票を行いました。

▲発表の様子

① 岩波駅周辺整備の検討状況の説明と Q&A

岩波駅周辺整備を検討する中で明確化してきた方向性等について、裾野市から説明した上で各班から市役所に聞きたいことを発表いただきました。

岩波駅周辺整備の方向性について



岩波駅周辺の現状と将来について

岩波駅の利用者数

･･･現在の１日あたり乗降客数は約 3,000 人です。朝夕に周辺企業の方に多く利用いただいており、今後もこの傾向は継続すると考えられます。

ウーブン・シティの人口

･･･フェーズ１完成時には約 360 人、最終的には約 2,000 人の方が居住すると公表されています。

Q&A（抜粋）

Q 短期計画、中期計画は、それぞれいつ、何をするのですか？

A 短期計画は今後 10 年、長期計画は今後 20 年の計画で、今回のワークショップで考えていただいた緑地（南側）は、短期計画に位置付けています。内容については、「岩波駅周辺地区まちづくり基本計画」に記載しておりますので、ご覧ください。

Q 緑地公園のコンセプトは何ですか？

A コンセプトはワークショップでの皆様のご意見を参考に検討中ですが、これまでのワークショップを通して、地域の方々が黄瀬川沿いの自然を大事にしていることは認識しておりますので、そういった自然を活かした公園としたいと考えています。

Q パーソナルモビリティとは何ですか？

A 電動キックボードといった１～２人用の電動の乗り物で、今後普及されることが予想されます。岩波駅のモビリティハブ施設に設置し、市民の皆様の移動手段と１つとなるよう展開していきたいと考えています。

▲パーソナルモビリティのイメージ

② 緑地公園の間取り・愛称と各班の投票結果！

①の内容を踏まえて、「緑地公園の間取り」「愛称」を再度考え、発表していただきました。

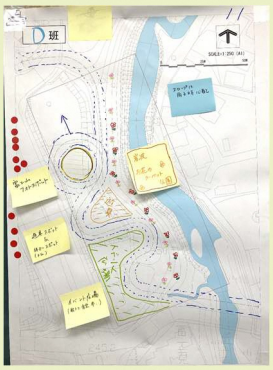
「芝生を裸足で感じる」「インスタ映え」「愛称に込められた想い」等、各班から工夫を凝らしたご意見をいただきました。また、「富士山の景色を楽しめる」「イベントができる」等、各班に共通するイメージも多くありました。いただいた使い方のイメージを参考に、裾野市として引き続き緑地公園の検討を進めていきます。

◆緑地公園の間取り・愛称

A 班
「富士山未来公園」

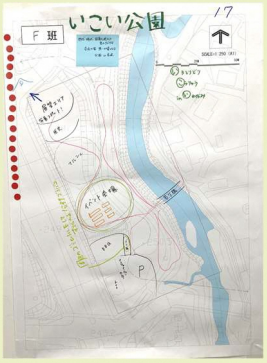
B 班
「未来公園 “富士山とウーブン・シティの見える公園”」

C 班
「岩波ふれあいせせらぎパーク」



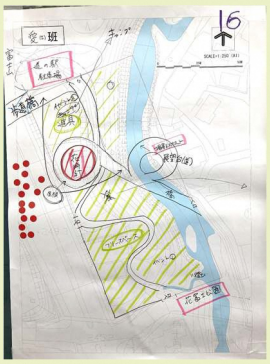
D 班
「岩波 お花のカーペット公園」

E 班
「富士山ニュースポーツパーク」



F 班
「いこい広場」

H 班
「いわなみはだし公園」



I 班
「花富士公園」

G 班
「みらいと田園のスイッチバック公園」

ワークショップの感想

◆緑地公園に全てを詰め込むのではなく、全体エリアを考慮して公園の機能を考えないといけない、と感じました。
◆回が進むほど具体的な意見が沢山出ており、最終的にどうなるかが楽しみです。

いわなみ 情報

令和元年に駅舎とホームがリニューアルし、令和2年にはエレベーターが設置され、より快適に利用できるようになった岩波駅ですが、遡ること明治 22 年、当初は急行列車の通過待ちの「待機所」として誕生しました。地域住民の足となる「駅」にするために当時の岩波区民が立ち上がり、約3年間で 100 回以上国へ交渉した結果、昭和 19 年に「岩波駅」となりました。